

# YOUTH SERVICE

若者を考える、若者と考える

## vol.25

特集

# 若者ダンス

TOPICS セクシュアルヘルス事業



# Catch Your Dream

## 夢をかなえる学校がある!

—普通科目とコース専門科目(希望者のみ)の履修で高校卒業資格を取得

### 選べる4つの登校スタイル

Schooling×Style

- クラス制** たくさんの友達と接しながら学ぶ。
  - フレックス制** 自分で登校する時間帯を選ぶ。大学感覚で学ぶ。
  - 土曜日選択制** 指定の土曜日に登校。少人数の塾感覚で学ぶ。
  - 夏冬集中受講制** 夏休みと冬休みなどに集中して授業出席して学ぶ。
- ※それぞれの登校スタイルは途中変更が可能です。



総勢9名の臨床心理士とキャリアカウンセラーがみなさんの相談をお受けします。



### 選べる18の専門コース

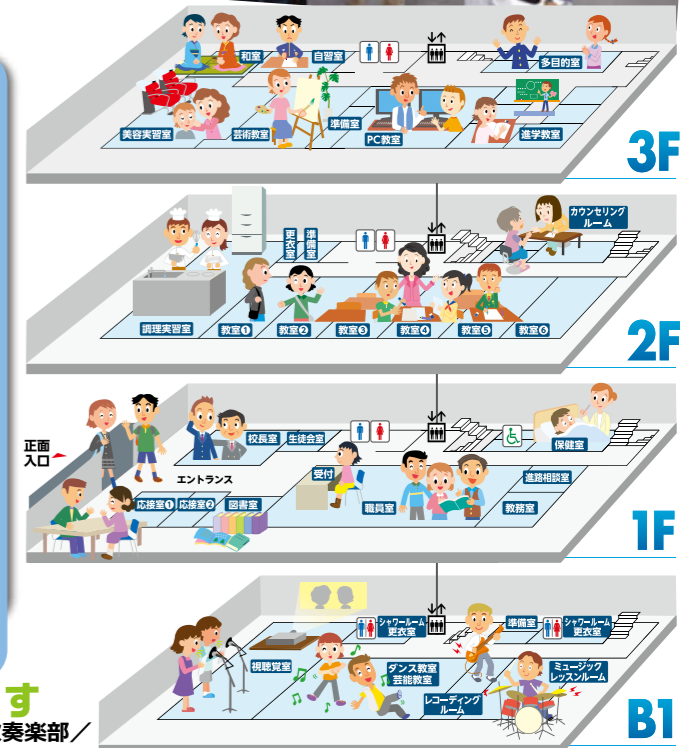
Special×Course

- 進学
  - 調理・製菓
  - 声優
  - IT
  - 理容師・美容師 (国家資格取得)
  - 動物
  - スポーツ
  - 外国語
  - 心理・教育
  - ダンス
  - 美容
  - ミュージック
  - 芸術
  - 芸能
  - フアッション
  - 保育
- NEW エンジニアコース 平成29年開講予定  
NEW コミック・アニメーション

※希望者のみ選択できます。 ※専門コースは毎年変更できます。 ※卒業単位に20単位まで認定できます。

### 盛んなクラブ活動が高校生活を彩ります

マンガ研究部/料理部/写真部/ASG部/演劇部/茶道部/吹奏楽部/軽音部/声劇部/手芸部/健康増進部/Duel Masters部/天文部/テニス部/卓球部/バスケットボール部/フットサル部/総合運動部  
生徒会・保護者会・同窓会・いちの和会(後援会)が連携して在校生の活動を支援しています。



私たちは青少年育成を応援しています!



通信制・単位制・普通科

## 京都つくば開成高等学校

転入学や編入学は、随時受付します。 <http://tkaisei-kyoto.jp/> 京都つくば 検索

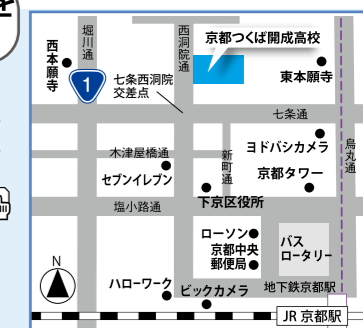
〒600-8320 京都市下京区西洞院通七条上る福本町406番

TEL:075-371-0020 FAX:075-371-0021

◆JR・地下鉄烏丸線「京都駅」より北西へ徒歩8分 ◆京阪「七条駅」より西へ徒歩16分



平成25年4月新校舎完成  
平成27年4月京都府認可





14

12

10

8

3

## 若者の雇用を最優先

京都市ユースサービス協会評議員  
和田 寛治



このところ「少子化」の進行が話題になっています。そのことを若者に聞くと「結婚して子どもが産まれると、教育費が高くついてとてもしんどい。結婚する気にならないので、恋愛もしない」という答えが返ってきました。若者の非正規雇用が多いことも問題です。正社員とは所得格差が大きく、有期雇用も不安材料です。転々として仕事が辛くなり、働けなくなったり、ひきこもってしまったりするケースもあります。

私どもの協会の若者サポートステーションや子ども・若者支援室には、若者が職業相談や悩み相談に訪れています。また協会運営の青少年活動センターで農業体験やカフェサービス、事務電話の対応練習などで力をつけ、新しい職場にチャレンジする若者もいます。

雇用を通して若者の生活を守ることは、将来にわたる少子化、さらにはそれに関連する高齢社会の諸問題を解決し、日本全体の活性化につながる大きなポイントだと思います。

イラスト：おおつか かな

ユースかわら版  
「中高生のためのプログラムを拡充！」 ほか

TOPICS  
セクシユアルヘルス事業  
「性」「カラダ」「人を好きになること」

ユースワークという考え方のコアは何か  
「Ethicsから考える」  
水野篤夫

高校生が作ったページ  
高校生の胸の内に迫る

特集  
若者×ダンス〜若者はなぜ踊るのか？〜

## ユースサービスの理念

子どもから責任ある大人へと成長する青少年を支援しています。  
家庭、学校、地域社会、職場ほか、青少年が自主的な活動場面への参加を通じて、社会と交わり、自身の興味や関心を豊かにし、必要に応じて、助言、情報、または多様な人的・物的資源が得られるような機会を提供します。

表紙：舞 Style（ダンスサークル）  
撮影：安部 健人

プラス思考に変える独自の教育「EMS」で  
**自分を好きになる、  
未来が変わる!**

随時、転・編入のご相談を  
受け付けております。  
お気軽にお電話ください。



### 自分に合ったスクールライフ

#### 通学型

- 毎日通って高校生活を満喫
- 週1〜3日マイペースに登校

#### 通信型 - Mobile HighSchool -

- 時間や場所を選ばず学ぶ

### 仲間ができる!笑顔が増える!



心強い仲間たち  
(ピアサポーター)



様々なサークル・  
イベント

### 自分に合った学習

- 中学校の復習から大学受験対策まで
- 進路対策も万全(進学・就職)

生徒第一...だから  
**第一学院高等学校**

通信制高校(広域通信・単位制)

京都市営地下鉄「五条」駅①番出口徒歩2分(京都駅より1駅)

〒600-8418 京都府京都市下京区烏丸通松原下ル五条烏丸町407-2 烏丸KT第2ビル5F

京都キャンパス TEL 075-371-3007 全国52キャンパス  
(平成28年7月時点)

www.daiichigakuin.ed.jp 第一学院高校

検索



高卒認定合格を目指すコース(通学・通信)もあります。



# 若者×ダンス

「若者はなぜ踊るのか？」

南青少年活動センター

市内7カ所にある青少年活動センターが特色を活かして、気になるニュースを紹介します。今回の担当は南青少年活動センターです！

南青少年活動センターでは、ここ3年間で青少年グループの利用のうち、ダンスを目的とした利用が60%近くを占めています。特にストリート系ダンスグループが増えている傾向があり、日々、夢に向かって励む姿や仲間同士で協力し競い合う姿が見受けられます。また、10代のころからダンスに夢中になり、「ダンスを教える側」に立つ20代の若者も多く利用しています。

このような背景のなか、「かれらはなぜダンスに熱中するのか」「なぜ踊るのか」といった素朴な疑問を投げかけることで、若者の「今」を知ることやダンスが開く可能性にふれることができるのではないのでしょうか。

今回の特集では、南センターを中心に活動しているダンサーの対談を掲載、そこで出てきたダンスのジャンルや用語をダンス教室代表のU-KO先生に解説いただきます。特集の最後では、立命館大学で踊りの研究を行っている遠藤保子教授のお話を紹介しています。若者の生の声を最後までお楽しみください。

◀ Aさん  
ジャンル：ポップ



▶ Dさん  
ジャンル：ヒップホップ・ソウル・ロック&ワック



今、あなたはなぜ踊るのですか？

◀ Bさん  
ジャンル：ブレイク



▶ Eさん  
ジャンル：ヒップホップ・ソウル・ロック&ワック



▼ Cさん  
ジャンル：ブレイク



◀ Fさん  
ジャンル：ジャズ・ヒップホップ・ソウル・ロック&ワック



# 対談 若者ダンサーの実は……

今回、対談に参加された5人のダンサー  
(前ページの紹介写真参照)

- A：大学生「舞Style」所属(男性)
- B：大学生「舞Style」所属(男性)
- C：大学生「ハニーチュロッキー」所属(男性)
- D：ダンスインストラクター「UDM」所属(女性)
- E：ダンスインストラクター「UDM」所属(男性)
- F：高校生「UDM」所属(女性)

## Q1 ダンスを始めたきっかけは？

A：高校生のころも関心はあったんですが、ダンス部には女子しかなくて。大学生になって友達に誘われて「やってみようかな」と思ってダンスを始めました。友達が参加していたグループへ体験にいった、そのまま今に至りますね。

B：僕は姉が小さいころからダンスしていて、よく発表会など見に行っているうちに、ダンスってかっこいいなって思うようになったんです。でも、高校のダンス部には女子しかいなかったため、大学に入ってから始めました。

C：僕は「スーパーチャンプル」というダンサーが大好きで出てくるテレビ番組を、姉ちゃんが見るのが日課で。姉ちゃんが大学から踊り始めたので、じゃあ僕もやろうって。大学入ったら踊るって決めていました。

D：東京に住んでるおばあちゃんが京都に来るときに「何かで歓迎したい！」と、姉ふたりとダンスを考えておばあちゃんに見せました。だから、きっかけは、感謝の気持ちを伝えるように思ったことかな。

E：僕もみんなと一緒に姉が関係している……。小学校1年生のときに二つ上の姉がダンス



を習いたいっていうんで一緒に通われました。まだ、フィットネススタジオにあるキッズクラスしかない時代、女の子ばかりで男の子がやるためずらしい、みたいな。あの頃、ほんまに嫌で、ずっと泣いていました。

F：私は中学生のころから興味はあったのですが、すごく運動音痴で。でも、何か一つ自分もできるものが欲しかった。思ってたとき、クラスで中心的存在の女の子がずっとダンスをしていて、「これだ！」と思い高校に入った12月から始めました。

## Q2 今、なぜあなたは踊るのですか？

F：中学校のころに憧れた人のようになりたいというのもあったけど、今は、大学で芸術を学びたいと思っています。そのために演劇も始めたし、受験にダンスの実技があるから、今ががんばっています。自分にはダンスがあったから、そんな進路を考えるようになったのかも。

C：今を全力で楽しむため。イベントなどで楽しむのもそうだし、みんなでぐだりながら酒を飲んだり踊ったり、一人でストイックにやるのも好き。ダンス自体もだが、ダンスを取り巻く環境が好き。

E：なぜ踊っているのか……(必率的に)そうだったから。「先生になろう」と思っていたわけがなく、その時、がんばれることをやっていたらここにきました。今は、ダンスを仕事にしている、ダンスからいろんなことが派生しているから、それがなくなることがあり得ないです。

D：私は一人でダンスするのは楽しくないなあと思っています。チームで踊ることで、ダメなところを言い合い、お互いを認め合う仲間ができて、他にもイベントなどで知り合った人たちなどもつながって、そういうのがすごく大切だと思っています。そんなつながりを作っていきたいなあとという気持ちで今、踊っています。

B：楽しいから。僕も、一人でも仲間と一緒に、ふざけてでも真剣でも踊るのが楽しいから続けています。でも、うまく技ができないときとか、バトルで負けると悔しいから続けているのが一番の理由かな。「まだまだだな」「さあ練習をしなければ」と思います。

C：僕も続けたい。社会人になって忙しくなり、学生の頃とダンスへの取り組み方は変わるだろうけど、その分いろんな形で楽しめるのではないかと思っています。

D：私も踊り続けると思っています。今、一緒にがんばっている仲間がいるから。また、ダンスは誰もが一緒に楽しくできるし、身体を動かすこと、芸術性があることでも他のスポーツとは異なる魅力があります。ダンスを通じて私が教わってきたことを次に伝えていきたいです。

## Q3 今後もダンスを続けますか？

A：踊りたいと思う限りは続けます。社会人になったら忙しくてなかなか踊る時間はないと思うけど、今までやってきて、ピタッと辞められるものではないと思います。

F：続けます。大学でダンスを学びたいし、やっぱり今お世話になっているUDM(6ページ参照)でも続けたいなと。いつか将来、夢を叶えたときに、恩返しできたら良いなと思っています。

B：続けます。これから先のことは分からないけど、「悔しい気持ち」はなくなる限らず思っているからそれがある限

教えて!

# U-KO先生!

Q1 対談に登場したみなさんのダンスジャンルについて教えてください!!



●ポップ  
ポップコーンの「弾ける」と、ヒットの「打つ」の二つの意味からきているダンスで、音のビートを自分の体で奏でるもの。パントマイムやロボットダンスの要素もある。



●ブレイク  
ブレイクミュージックで踊る、身体を壊すかのような複雑な動きで魅せるスタイル。もともとは喧嘩から始まっており、殴り合いの代わりには技を見せ合いどっちがカッコいいかバトルをしていたとか。



●ジャズ  
バレエの要素が多く入っているスタイルで、体の柔軟性とテクニックは必須。体を大きく見せるストロングジャズに、ポーズをとりながらスタイルを意識するスタイリングジャズ、ミュージカル寄りのシアタージャズなど数え切れないスタイルが!



●ヒップホップ  
音にはまるように踊るスタイル。しかしジャンルの幅は広く、一言で説明するのが難しくこれだけで一日は語れそう……。

●ソウル  
70年代に流行った魂に響くという意味のソウルミュージックを使ったダンス。使用する音楽の歴史が一番深く、ロック、ワックなどのベースにもなっている。

●ロック & ワック  
ロックはソウルをベースにしたもので、直線的な動きが多い。対照的にワックは腕のしなり・伸びなどを使った腕技が多いダンス。

Q2

数々の場所

でダンスを

教えているU

先生ですが、

ズバリ! 最近のダ

ンスについて思うと

ころはありますか?

U-KO先生

学生の頃、ブラックミュージック(黒人の音楽)のもつ、“人に感動を与える”力強いメッセージに感銘を受けたことをきっかけにダンスを始めた。それから身体を壊し一時期ダンスから離れる時期もあったが「人との出会いをつなぐ場」の魅力を忘れられず再びダンスの世界に。そして2000年、ダンス教室「UDM」を開設。

UDM (ULTRA DANCE MARKET)

大阪、京都を拠点にスタジオをもたず、貸し施設で教室を開くという移動型スタイルのダンス教室。前身は京都市内にあったスタジオピーターバン。その当時のプロデューサー Tack 氏の考え「ダンスを通して人と人をつなぐ場所を作る」をコンセプトに活動中。



Q3

最後にU-KO先生のダンスへの情熱を一言で教えてください!!

現代のダンスは、Electric Dance Musicなどがよく見せるダンスが注目されています。自分たちが楽しむ目的のダンスも良いけれど、自分たちが踊っているダンスの意味を知ってもらうためにも、音楽の作り出された時代背景や世界観など音楽の歴史を知ってほしいです。

「ハート命」のダンスであってほしいです。気持ちがかもったダンスは人の心を動かします。ダンスが人と人をつなぐ手段としてあり続けられるよう、そのことを忘れずに伝え続けていきたいです。

UDM 今後のイベント

●平成28年11月3日(木)祝 唐橋西寺育成苑まつり 出演@京都市立八条中学校

●平成28年11月5日(土)大阪産業大学第51回大学祭 出演@大阪産業大学

●平成29年2月26日(日)Big Bang Boom vol.4 出演@京都府立文化芸術会館

## 我踊る故に我あり

立命館大学 産業社会学部現代社会学学科教授 遠藤保子



私の研究は「アフリカの舞踊と社会に関する研究」です。サハラ砂漠以南の文字のなかった地域でのコミュニケーションを考えたときに、音楽や踊りが重要な役割を果たしているのではないかと、人々がどんな時に、何故踊るかに着目したのが研究のきっかけです。現地調査で感じたのは、踊りが彼らの生活の中でとても重要な位置を占めているということでした。彼らの踊りには、神様に祈ったりご先祖様に感謝の意を表したりする場面や人生の重要な節目で見られる宗教的な側面と、みんなが集まって楽しむという世俗的な側面がありました。さらに、踊りにはコミュニケーションのいくつか層があり、まずは「自分との対話」、次に「踊っている者同士の対話」、「生演奏者と踊り手の対話」が生まれます。さらに「観客と踊り手の対話」、そして「祖先や神様と踊り手の対話」。このいくつかの層が感じられてコミュニケーションが生まれ、その世界を私は

「ワンダーランド」と捉えています。最近の若者のダンスにはご先祖様との対話といった要素は希薄ですが、元を辿ればそういった次元にたどり着くと思います。フランスの社会学者ロジェ・カイヨワが著者の一つ『遊びと人間』で提唱した「遊び」を4つに分類した概念があります。まず「模倣する楽しさ(ミミクリ)」。日常でも見られる様々な動作を真似して踊りにする楽しさです。次に「競争する楽しさ(アゴーン)」。それから「偶然性(アレア)」。即興性とも言い、その場の雰囲気や動きで楽しむことです。そして「めまい(イリクス)」。ぐるぐる回ったり、飛んだり、そういう動きをしたときにめまいがする、陶酔する楽しさがある。以上の要素があるから、今の若者たちは楽しんで踊っているのではないかと思います。

「そして、現代ダンスの根底に、ポストモダン(※1)があると思います。一つ目は「共生原理の模倣」です。限られた人たち(エリート)がやるスポーツではなく、老若男女一緒に踊る、自然と一緒に踊る、ということ。二つ目は「下降思考」。トップを目指す「上昇志向」ではなく、頂上を目指さないものです。スキルアップやコンクールで優勝を目標とすることはあるが、それは派生的であって、みんながやることに重きを置くという思考です。三つ目が「民族舞踊に新しい要素を加える(エスニシティへの回帰)」です。明治以降は欧米の文化を真似るのがよいという考えがありましたが、やはりもう一度日本の根底の文化を考へることも大切です。四つ目は「遊び心の復権」。近代は勤勉こそがよく、遊ぶのはよくないと言われていましたが、今は遊び心を持つことも大切にされています。今までは、欧米など進んだ国の文化がよいと言われていましたが、上下をつけずに相対的に見るべきだと思っております。アフリカの生活は私たちの暮らしから見てもかなり過酷です。しかし、そんな暮らし

の中でも仕事が終わればみんなまで踊りだす、それが「ワンダーランド」ではないでしょうか。今の社会では、考え方や感じ方もそれぞれ違う中で、ダンスがなぜ踊られているのか、それが現代のダンスを考へるポイントになると思います。学校教育でダンスが必修化され、ダンスによって表現力が豊かになり、言いたいことがスムーズに伝えられることがあります。「我思うゆえに我あり」とデカルトがいいましたが、ダンスに関しては、「我踊る故に我あり」といえるのではないのでしょうか。 ※1 近代の進歩主義・合理主義的傾向を否定する考え方

高校生が作ったページ

# 高校生の胸の内に迫る

私たちが編集しました!



- 下西 真由 (16)
- 小山 日菜子 (17)
- 石田 祐子 (16)
- るーるるー (18)

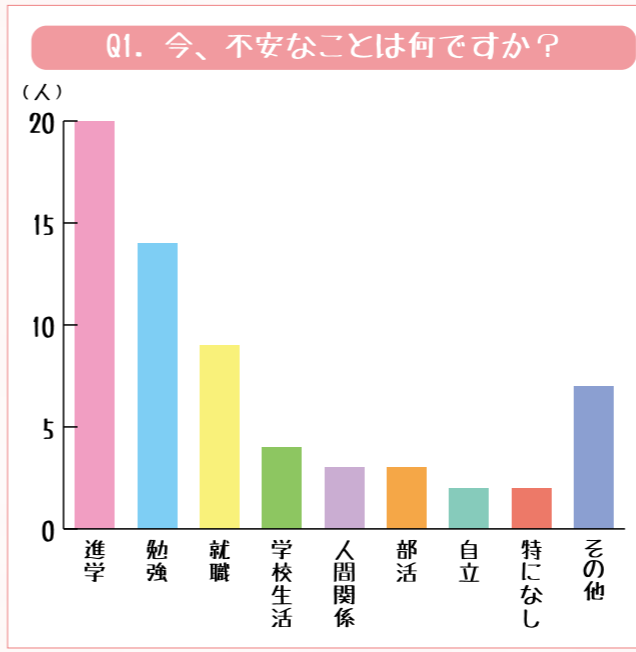
- ①アップルパイ
- ②17
- ③バレエ

- ①福猫飯店
- ②16
- ③ギター

**高校生が考える「未来」**  
 高校生は大人と子どもとのちょうど境目の時期。毎日いろいろなことを考え、感じ、そして悩んでいます。他の高校生が何を考えているのかわかってみたいと不安を共有することで、もう一度自分自身を見つめなおす機会をつくり、安心することができたらいいなという思いから、「高校生の悩み」というテーマで高校生50人にアンケートを採りました。

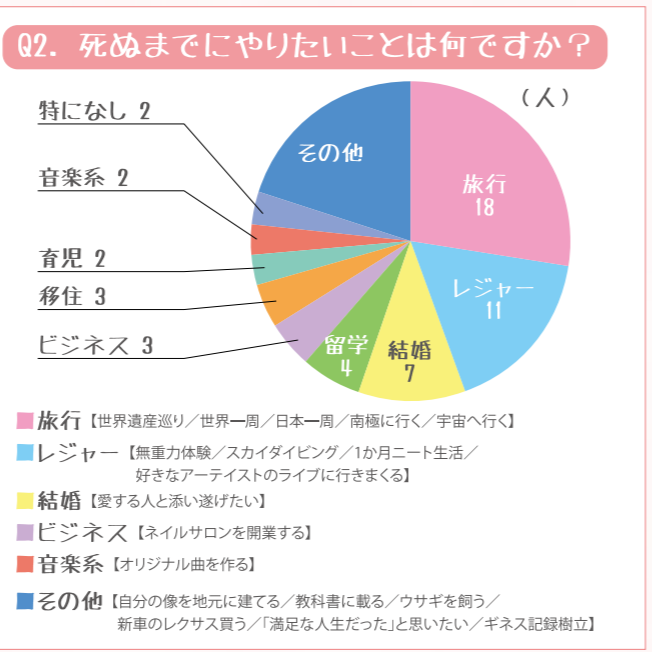
Q1. 「今、不安なことは何ですか? (複数回答可)」の結果、「進学」と答えた人の割合が最も多く20人、次に多いのが「勉強」で14人と、学業についての悩みを持っている人が全体の半数以上という結果になりました。また、「進学」「就職」など将来の進路についての不安がある人も多く、半数近くの人が回答しました。これらのことから、高校生は目の前の勉強のことや、その先に待っている大学進学あるいは就職について不安な気持ちを抱えていることがわかりました。また、気になる回答としては、「結婚できるか」「長生きできるか」「死について」などもありました。

Q1. 「今、不安なことは何ですか? (複数回答可)」の結果、「進学」と答えた人の割合が最も多く20人、次に多いのが「勉強」で14人と、学業についての悩みを持っている人が全体の半数以上という結果になりました。また、「進学」「就職」など将来の進路についての不安がある人も多く、半数近くの人が回答しました。これらのことから、高校生は目の前の勉強のことや、その先に待っている大学進学あるいは就職について不安な気持ちを抱えていることがわかりました。また、気になる回答としては、「結婚できるか」「長生きできるか」「死について」などもありました。



不安と希望をもつ高校生に『しんどくてもがんばれること』を聞いてみました!

- ①ニックネーム
- ②年齢
- ③しんどくても がんばれること



Q2. 「死ぬまでにやりたいことは何ですか? (複数回答可)」の結果、「旅行」と答えた人の割合が最も多く18人、「レジャー」と答えた人が次いで11人という回答が得られました。「旅行」の中には、日本国内以外にも、ヨーロッパや南極、世界一周旅行をしたいと回答した人もいました。また、「レジャー」の中には無重力体験やスカイダイビングをしたいという回答もありました。これらのことから、高校生は遠い世界や貴重な体験に憧れがあり、充実した生活を求めていることがわかりました。その他のおもしろ回答には「教科書に載る」「1か月1泊生活」「ギネス記録を樹立する」などがありました。

①ゆき  
②16  
③掃除

①ねこりん  
②16  
③育てた野菜を調理しコンクールに出すこと

①ファンボルト  
②16  
③学校に行くこと

①キノコ  
②17  
③必要とされたい人の助けになること

①アップルパイ  
②17  
③バレエ

## まとめ

アンケート結果では、「不安がない」と回答したのは二人だけでした。どの大に行きたいか、自分は何になりたいのか、どう生きたいのか。テレビに出演している、自分と同じ歳のアスリートや俳優を見て、自分は何をされているのだからと焦ることもあります。しかし、それと同時に未来に「希望」も持っています。今の自分にはできない

- Q1. 高校生時代を一言にギュッとまとめると、どんな言葉になりますか?  
 Q2. 現役高校生に、ぜひアドバイスをお願いします。
- 男性 37歳  
 A1. 野球漬け 青春  
 A2. 自分の好きなことには前向きに! のんびり頑張り過ぎず
- 女性 39歳  
 A1. 混沌  
 A2. 今できることを精一杯楽しみましょう!
- 男性 52歳  
 A1. 青春  
 A2. 少しでもやりたいと思ったことがあれば必ず行動に移してほしい。やりたいことは時間が経つと忘れるので、すぐもったいない。人の言葉に左右されずにやること。無駄なことでも経験は宝になります。

**学校の先生に聞いてみました!**  
 先生は私たちにとって親以外で一番近い大人。そんな先生はどんな高校生活を送っていたのか、また先生から人生の後輩でもある高校生に伝えたいことを聞きました!

Q1. の回答に関しては「青春」と爽やかで甘酸っぱい、そんなイメージが強いです。Q2. では高校生に向けてのメッセージを書いてもらいました。部活や友達と過ごした時間や眠くて体がだるい午後の授業、今は長く感じる時間でも大人になれば一瞬の出来事、そんな時間を一秒全力で楽しんで欲しい。そんな気持ちを感じました。

# ユースワークという考え方のコアは何が

## 〜Ethicsから考える〜

京都市ユースサービス協会常務理事・事業部長 水野篤夫

### 1. 若者の自己選択の機会

15年以上前のことですが、ユースサービス協会の事業として、若者の市民参加を促す取り組み“をやる”と提案しました。その時の周囲の反応は「市民参加って何?」「若者の参加って難しいで」というようなものだったと記憶しています。でもとにかくやってみようと考えたのが、「高校生のまちづくり (Teens Forum)」でした。当時、大学生の活動というのほさまざまあったのですが、高校生が参加できるものが無いのでは?と考えて「高校生の」と対象を絞りました。ところが、参加者は2人だけ! 事業として実施できるかピンチでしたが、大学生スタッフ2人と一緒に、とにかくやってみることにしました。

内容については詳しくは書けませんが、岡山の元気な高校生グループと交流したり、京都市の基本計画に提案をしたり、少人数の良さを生かしつつ(?) 楽しく活



動しました。この事業の経験をベースにして、市政に若者の声を届ける事業を展開していくことになったのですが、この時はつきり感じた一つが、「高校生だって場さえあれば、ちゃんと考え行動することができるとだ」ということでした。

同時にそれは、それまで若者と関わる現場に長く携わっていたのですが、やっぱりどこか「教え導

く、支えてやる必要がある」存在として彼/彼女らを見ていたのだと、自ら振り返る体験にもなりました。その時、参加してくれた高校生の一人が言ってくれたことは、今でもとても支えになるとともに、反省を迫る言葉でもあります。

「水野さんは、自分のことを上から見るのではなくて、一緒に動いてくれた」

### 2. 若者の世界観

もう一つこの事業で考えさせられたことがあります。岡山訪問で「岡山の高校生が日頃過ごしている所を案内して!」とリクエストしたのですが、彼らを選んでくれたのは、ゲームセンター(〇〇ワンダーランド)↓カラオケ↓中華料理屋(ぎょうざとコーラ)↓図書館の前(ガラスの前でダンス練習する若者が集まる)というコースでした。大人が考えたのでは出てこない選択肢です。案内してく

れたメンバーは、岡山で高校生フェスティバルを企画しようという集まりなので、決して「不真面目」な高校生じゃないけれど、学校の中では、やはりやりたいことができない様子でした。ついつい、私たち「施設職員」も大人の価値観でプログラムを考えてしまいがちなので、彼らの案内コースのような、普通の高校生たちが生活の中に織り込んでいるものや感覚を大事にする必要があるのだと感じた訳です。

### 3. ユースワークの価値指針 (Ethical principles)

これまで何度か、ユースワークについて考え方を書いてきました。とはいえ、そもそも何がユースワークで何は違うのか? どんなことやればユースワークといえるのか? もう一つぼんやりとしていたのではないかと思います。事実、曖昧で幅広い実践を含めることができるのが、ユースワークの強みや特色だともいえるのです

が、そうはいっても、子どもや若者に関わる活動すべてをユースワークと見なすことはできません。どうしても共感できないような活動も実際にあります。

例えば地域での少年スポーツの活動は盛んに行われていて、これなどはユースワークの典型ともいえるプログラムなのですが、そこでの指導者の関わり方にはとても違和感を抱くことがあります。ある場所で見えた少年野球では、指導者がバットを持って怒鳴りまくっていました。子どもは萎縮し、技量の高い子どもだけが評価されているように見えました。プログラ



ムの内容は別として、そこでの大人の関わり方は決してユースワークと相容れるものではないと考えます。では、何が違うのか? 一例として、イギリスにおけるユースワークの価値指針 (Ethical principles) には、次のように規定されています (簡略版を訳しています)。

- (1) 若者を尊敬すべき存在として関わる。個々の若者が価値あるものとして尊重し、否定的な差遣付けをしない。
- (2) 若者の自己決定と自己選択の権利を大事にし、それを伸ばすよう促す。
- (3) 何かに挑戦することを含む、教育的な活動を通じた学びの機会を若者に許容し、若者の福祉と安全を守り伸ばすようにする。
- (4) 若者に対してのみならず、社会全体の公正さの促進のために貢献する。多様性と個々の違いを尊重し、さまざまな判断に対して挑戦することを促す。

どうでしょう、いずれも分かりやすい内容ですし、「当たり前じゃないの?」と見えるかもしれませんが、しかし、実際に若者と関わる場面で、これらのことを意識し、実現するように振る舞うのは簡単ではありません。見てくれが

やんちゃそうな若者が固まっていたら、少し身構えてしまうでしょうし、派手なファッションの女の子がいれば、性格も派手なのではと考えてしまいます。偏差値が高い学校に通っていいれば「頭が良いに違いない」と思うかもしれないし、また逆のことも当然と受け止めてしまうかもしれません。

若者の自己決定を尊重することも、それほどたやすくはありません。若者の成長のためを思えばこそ、大人としての支援者の考えが正しいと思いがちになることはよくあります。先の少年野球の指導者だって、子どもに良かれと思っ

### 4. ユースワークにとっての核となる考え

どんな活動をユースワークというか? それに対する答えとして、「若者に関わる活動のほとんどはユースワークになりうる」といえるかもしれません。しかしそれは、上記の基本的な価値を共有した活動でなければなりませんから、その点で一定の区切りが付けられます。若者を見かけや属性だ

けで判断してしまったり、大人の側の価値観を押しつけたり、若者の安全な生活に無配慮であったり、社会的排除と戦わない活動、そもそも若者を「若いから」といつて軽んじる活動ならば、それはユースワークとはいえないと言いつつて良いでしょう。とはいえ、上記の価値観は欧米の若者を巡る状況から考えられたものです。その意味で、これから日本の現実に合致したユースワークの価値指針を練り上げていくことが必要なのだと思います。皆さんも共に考え



## セクシユアルヘルス事業 「性」「カラダ」「人を好きになる」と

セクシユアルヘルス担当者会

みなさん「性的健康」という言葉を聞いたことがありませんか？ それでは「性の権利」という言葉は？  
20年ほど前ですが、性暴力の被害のあと、妊娠・中絶をした大学生と出会いました。そのあとに出会った障がいのある女性は、女性器に痛みを感じるものの、どのように表現してよいのかわからず、ずっと我慢していました。「彼氏に嫌われたくない……」とセックスを断れずにいた中学生は、妊娠を心配して青少年活動センターに駆け込んできました。私は、彼女たちとの出会いを通して、「性」のことが話せるユースワーカーになろうと決めました。「性」のことを話すの」とびっくりする同僚もいましたが、何も自分の経験を話すわけではないのです。若者が「性」について困っているときはもちろん、困る前に必要な情報や正しい知識を届けること、一緒に考えることのできる大

人の存在が必要だと思ったのです。  
手探りで進める中で「セクシユアルヘルス＝性的健康」「セクシユアルヘルスライツ＝性の権利」という言葉に出会い、私たちのやるべきことが見えてきました。これらを実現するためには、若者にアプローチするだけでなく、かれらの育ちを支える援助者や地域の人々も巻き込み、若者の生活のあらゆる場面で想像しながら進めることが必要だと気づきました。  
現在、若者の「性」「カラダ」そして「人を好きになること」……これらを切り口に青少年活動センターでは、若者、地域の人々、関係機関と力を合わせながらさまざまな取り組みを行っています。

南青少年活動センター所長 横江美佐子

2002年

「ユース3」のスクエア（青少年総合相談窓口）の一分野として、「若者のセクシユアルヘルスに関する支援プログラム」として事業を開始  
HIV/AIDSポスター展、ロビープログラムの実施

2003年

教育現場での取り組み報告と  
支援者ネットワークづくり

2004年

「みさやまミーティング（ピアサポーター養成講座）」  
を開始（独立行政法人福祉医療機構助成金にて実施）

2005年

青少年向け相談事業「レンアイリヨク向上委員会」  
を開始



2006年

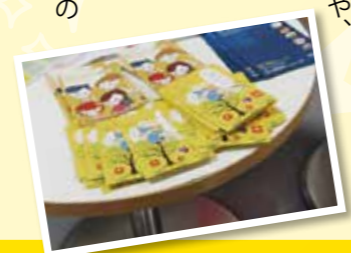
ユースサービス協会企画委員会にて全事業所での実施を検討

2011年

京都市保健センターなどの協力を得てエイズ即日検査や、  
パネル展示の実施

2013年

デートDV・エイズ予防啓発リーフレットの作成  
（エイズ予防財団助成金にて実施）



2014年

各種イベントでの啓発活動の実施

若者のセクシユアルヘルスに関する問題に対し「昔はそんなことを教わらなくても生きてこられた」「他の人が取り組むべき」など、避けるような態度が援助者の中で散見されます。前者に関しては、今はインターネットの時代です。商業的な、つまり現実と乖離した性の情報は、以前と比べ、はるかに手に入りやすく、ある部分は過激に、そしてずっと生々しくなっているように見受けられます。そんな環境の中で、昔と同じやり方は通用しません。後者に関しては「そう言わず、それぞれの得意な方向で、皆が取り組みやすいの」と思います。その理由はふたつあり、ひとつ目は、人の困りごとに対して援助者が行う解決のための提案は多様なほうがよいからです。ふたつ目は、若者のセクシユアルヘルスの問題を丁寧に取り組むことによって得られるものは、その問題の直接的な解決——例えば、望まない妊娠が減らせるとか、性感染症への罹患が減らせるとか、そればかりではないからです。セックスは非常に個人的なものでもあり、その行動を変えるのは簡単ではありません。親や教師など大人には「若者がコンドームを使うべき理由」がありますが、若者にも使わない理由がいくつもあります。私たち大人は、いつ、なぜ、どのように、「コンドームを使う理由を得たのでしょうか。ど

エイズ予防啓発に関するポスター  
を作成しました。（2015年度）  
当事者の目線に立った内容にするため、大学生を中心とした若者が作成に関わりました。「恋愛」を切り口にエイズを含む性感染症の予防啓発につながるメッセージを織り込むことで、パネルを見る若者が自分のこととして考

えられるよう目指しています。  
（一般社団法人 未来支援委員会 助成金にて実施）

エイズデーなどの予防啓発イベントに加えて、各青少年活動センターで取り組まれるお祭りなどの各種イベントでのパネル掲示、啓発ブースを設置しています。内容によっては、コーディネーターや大学生を中心としたボランティアサポーターが来場者の理解を深められるよう手助けを行っています。

青少年活動センターの利用者を対象にロビーを使った交流事業を行っています。掲示等の間接的な関わりを通して、若者の恋愛観や性に関する疑問を知ることが出来ます。また、個別相談につながるケースもあります。

下京青少年活動センター  
齊藤彩乃

すればそれを若者と共有できるでしょうか。私が「ユースワークがセクシユアルヘルスを積極的に扱えばいいのに」と思う理由はそこにあります。ユースワークが目指すことは若者の成長、つまり、若者が自分の声を持ち、所属するコミュニティに対する影響力と自身の居場所を自分で作れるようになることです。それは、コンドームを使う理由をもたなかった若者が、自分のセックスには病気や妊娠の可能性があることを認識し、それについて考え「コンドームを使わない」と思い、そして自分のセックスの相手と話し合えるようになる、という変化と密接に繋がっています。そういう意味で、若者のセクシユアルヘルスの問題をユースワークの中で扱うのは「おいしい」ことだと思っております。ユースワークにとって、あるいは他の若者育成を扱う分野にとって、セクシユアルヘルスは敬遠されてしまつ分野かも知れませんが、最初に感じる不慣れがゆえの困惑や嫌悪感を超え、お互いにとって「1+1=2」以上の効果が望めるような協働に挑戦できるなら、若者を巡る状況がどんどん悪化するこの時代に、有意義なことなのではないでしょうか。

京都精華大学非常勤講師 あかたちかこ



# ユースがゆら版

## 「祇園祭ごみゼロ大作戦に参加しました！」



今年も京都市ユースサービス協会は「ごみゼロ大作戦」に協力しました。「ごみゼロ大作戦」とは、繰り返し何度も洗って使用できるリユース食器を露店へ導入し、ごみの減量と散乱ごみの防止を実施する日本最大級の取り組みです。

宵々山、宵山の2日間、リユース食器の回収やごみの分別などを行いました。当日はかなり蒸し暑い天気でしたが、大きな問題もなく、楽しく参加することができました。

来年もぜひ協力を続けていきたいです。

写真提供：  
祇園祭ごみゼロ大作戦実行委員会

## 「ひきこもり経験者の話を聞く会」

伏見青少年活動センターでは、9月～12月の間にNPO法人 京都 ARU と協働し、「生きづらさ」をテーマにしたロビープログラムを実施します。一番の目玉は10月16日(日)14時～16時に開催する、ひきこもり経験者の話を聞く会。23歳のときにアスペルガー症候群と診断を受けるも、さまざまな社会資源やネットワーク、知識を得て「生きづらさ」を乗り越えている当事者をゲストに迎えてお話をうかがいます。その他にも月1回、ゲストを囲んだおしゃべり会を実施。詳しくはホームページをご覧ください。

## 「中高生のためのプログラムを拡充！」

東山青少年活動センターでは、新たに中高生を対象とした2つのロビープログラムがスタート！

「放課後プロジェクト」(毎週火曜日・木曜日16時～18時)では、地元中学生を対象に放課後が楽しくなるような企画や、みんなの「こんなことやってみよう」という案と一緒に考え実現していきます。

「土曜ふらっと」(第1・3土曜日14時～18時)では、中高生を対象におススメの本を紹介したり、お茶会をしたり、一人でも安心して参加できるようなプログラムを実施していきます。



## 「京都の魅力 高校生が動画で発信！」

中京青少年活動センターで、現在「京都の魅力を動画で発信する」をコンセプトに活動を開始した高校生K。第1作となる動画を先日、撮影してきました。

京都のまちが一番にぎわう夏のお祭り、祇園祭に潜入。ビデオカメラ片手に宵山の夜を歩いた映像は、臨場感たっぷりのものになっています。ただいま鋭意編集中。

京都に住む高校生の彼が伝える京都の魅力、これからどんな風に展開していくのか楽しみです。

また、Kと一緒に活動してくれる中高生の仲間を募集しています。活動は週に1回程度、撮影内容のミーティングや撮影、編集をグループで行います。

京都が好き！ 動画撮影やってみよう！ レポーターとして出演してみよう！ など、興味のある方は中京青少年活動センターまで。



## 「おしまなかまと みつけろ！ さまぁ～！」

利用登録グループ『特定非営利活動法人冒険キャンプ実行委員会』は、この夏、愛媛県今治市『風の顔らんど・小島』にて8月11日～17日の1週間キャンプに挑戦しました。32回目を迎えたキャンプで、小学1年生から中学3年生まで公募で集まった子どもが60人、スタッフ40人、総勢100名の一大キャンプです。水道も電気もない土地で、ご飯を作ったり、手作りの水道で洗濯をしたり「生活」を一緒に作ります。決まったプログラムはなく、宝探しや流しそうめん、海遊びなど、子どもたちと決めながら過ごしました。小島だからできること、この仲間だからできること、この夏のとっておきが見つかりました。



## ご寄付いただきました

2016年8月21日 LIVE KIDS 25回記念大会がロームシアター京都で開催され、ダンスやミュージック、パフォーマンスなど31組の発表と、延べ1,500人の来場者がありました。

当日、来場者の皆さまから「若者の文化発信事業」に対して97,653円のご寄付をいただきました。誠にありがとうございます。

なお、京都市ユースサービス協会では、このように「事業指定寄付」を受け付けています。詳しくはホームページをご覧ください。

その他8月末時点で、協会運営全体への寄付を含めて、401,970円のご寄付をいただいています。

(個人からいただきました寄付については、年度末にご報告させていただきます)



発行 公益財団法人 京都市ユースサービス協会

〒604-8147 京都市中京区東洞院通六角下ル御射山町262 京都市中京青少年活動センター内

tel: 075-213-3681 fax: 075-231-1231 E-mail: office@ys-kyoto.org

HP: <http://www.ys-kyoto.org>

印刷: 株式会社谷印刷所 デザイン: 自然堂株式会社

